

名家連ニュース

平成30年11月18日(日)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀田 明
TEL/FAX (052) 846-5576 NO. 562号

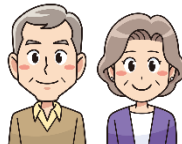
第3回 精神疾患基礎知識講座開催 続報

《ADHD(注意欠如/多動性障害)の治療》

- ・薬物療法(コンサータ、ストラテラ、インチュニブなど)
- ・環境調整(生活上の工夫、仕事上の工夫)

《周りのものは》

- ・ご本人の特性に合わせた対応を。
- ・無用な混乱を生まないように。



《あいまい、「適当」が苦手です》

- ・適当にしまっというて ・ちゃんと片づけて ・早めに終わらせて ・これとこれとこれをやってね

《こんなふうに言うてみる》

- ・「ファイルに閉じたら、日付順に、そのロッカーにしまってください」
- ・「おもちゃは、ぜんぶこの箱に入れて。本はこの棚にならべてね」
- ・「3時半までに、この書類は書き上げよう」(期限)
- ・「まず、最初にゴミを捨てて、それがすんだら、洗濯物を取りこんで、そのあとに花に水をやってね」



《目で見た情報は入りやすい》

- ・耳からの指示はわからなくなりやすい。 ・手本をみせる。 ・順番をきめて、メモに書いて渡す。

《矛盾は苦手です》

- ・一貫した対応：いろいろな人がいろいろなことを指示すると困ってしまいます。
- ・できるだけ例外なく：どういう場合が例外なのかがわかりにくいのです。

《得意なことを極める》

- ・決まった形のあることを繰り返し、達人になることはできます。
- ・ルールが定まっていれば、そしてそのルールが理解できれば、きちんとルールを守るのは得意です。決して、ルールを外しません。



《相談相手》

- ・臨機応変な場において、混乱しやすいので、そういうとき、困ったときに、すぐに相談できる、そういう人がいると大変助かります。本人一人で対応しない方がよい。